

平成 24 (2012) 年度

事業報告書

自 平成 24 年 4 月 1 日

至 平成 25 年 3 月 31 日

公益財団法人九州盲導犬協会

福岡市中央区荒戸 3-3-39

福岡市市民福祉プラザ内

盲導犬育成事業<公益目的事業1>

1. 視覚障害者に対する盲導犬の無償貸与と生活訓練等の実施について

(1) 盲導犬貸与頭数

①平成24年度は、自治体及び日本自動車販売協会連合会などからの助成・支援を受けて、盲導犬希望者に9頭の盲導犬を無償貸与した。

- ・代替7頭（福岡県3、山口県2、大分県1、熊本県1）
- ・新規2頭（熊本県1、佐賀県1）

②盲導犬貸与数

- ・貸与頭数累計210頭（タンデムを含む貸与者数217名）
- ・平成25年3月末現在の実働盲導犬数48頭（ユーザー数50名）

(2) 公正な盲導犬貸与

盲導犬貸与規程ならびに盲導犬貸与審査に関する規定に基づき、公正な盲導犬貸与を目的に盲導犬委員会を開催し、盲導犬貸与申込者の選定および共同訓練に関する審査を実施した。

(3) 盲導犬使用者（以下、ユーザー）に対するフォローアップ

①ユーザーからの年次報告に基づき、盲導犬の健康状態の把握に努め、50名のユーザーに対するフォローアップ70回を実施した。

②九州盲導犬協会友の会の総会（7月）、レクリエーション（11月）等に参加して、その活動を支援した。

2. 犬の飼育および訓練について

(1) 候補犬の訓練について

期中40頭の候補犬に対し貸与に向け訓練を行った。

(2) 繁殖について

- ・期中子犬44頭（当協会出産子犬38頭+他協会譲受子犬6頭）を確保した。
- ・平成25年3月末の繁殖犬数は3頭増加し、20頭（雄6頭、雌14頭）を保有。
- ・繁殖犬飼育委託家庭9件に対し、定期訪問63回を実施した。
- ・AGBN加盟協会との繁殖協力の維持・発展に努めた。

(3) パピーウォーキングについて

- ・期中40頭の子犬を飼育委託した。
- ・期中飼育講習会20回、飼育家庭訪問回数67回を行い、飼育指導に力を注いだ。

(4) 盲導犬の引退について

期中引退頭数12頭、期末の飼育委託頭数は、40頭である。

(5) 犬舎管理について

管理頭数はピーク50頭を超えたが犬舎の衛生管理及び犬の健康管理に努めた。

(6) その他

今期、協会の所有するすべての犬に、個体識別の電子標識器具の装填を完了した。

3. 訓練グループ職員のレベルアップについて

- (1) 毎日の業務報告・連絡・相談を通して課題の発見と解決を図ることにより、訓練技術の向上を図った。
- (2) 全国盲導犬施設連合会主催のセミナーに職員を派遣し、技術及び知識のレベルアップを図った。
- (3) 全国盲導犬施設連合会に歩行指導員1名を申請し、認定を受けた。

4. 行政、各種団体およびボランティア関係各位との関係づくりについて

- (1) 行政当局をはじめ関係各位との情報交換・連携を密に行い、盲導犬育成事業の円滑な業務運営に努めた。
- (2) 盲導犬医療特別措置について
福岡県獣医師会をはじめ各地区獣医師会及び各動物病院の協力を受けて、本年度も継続実施することが出来た。
- (3) 繁殖犬・パピー・リタイア犬等ボランティアとの連携に努めた。

普及啓発事業<公益目的事業2>

1. 普及啓発事業の推進体制について

補助犬使用者及び補助犬が社会と共生するため、育成事業と一体の事業として推進を図った。

2. 普及啓発活動について

- (1) 盲導犬ユーザー、ボランティア、各地区のライオンズクラブをはじめ団体各位の協力を得て、RKB ラジオ祭り、各地で開催された動物愛護祭、九州運輸局と共同でのバリアフリー教室等のイベントに参加し、盲導犬の普及啓発及び街頭募金活動を行った。
- (2) ユーザー各位の協力を得て、小中学校における盲導犬総合学習の講演・体験学習を実施し、盲導犬を主体とした補助犬の普及啓発に努めた。又、福岡視力障害センター等での講演・体験歩行会を通じて盲導犬の普及啓発を図った。

3. 総合訓練センター見学会等について

- (1) 定例見学会を毎月1回(12月除く)開催し、年間延べ359名が来所した。
- (2) 定例見学会の他、33団体747名に対する団体見学会を実施した。その他、パピー講習会の来所者を含めると、総計1,677名の方々に、施設の紹介及び盲導犬の普

及啓発を図ることができた。

4. 広報活動について

- (1) 協会報（ハーネス九州）を福岡県共同募金会からの配分金 80 万円をもとに、年 2 回（2 月、8 月）各 10,000 部発行し、福岡県、福岡市など関係機関の窓口に配布を行うとともに、ボランティアの皆様の協力を得て広報に努めた。
- (2) ホームページを通して、協会の事業案内や盲導犬育成状況の紹介などタイムリーな情報の発信に努めた。

5. 相談業務について

相談担当職員を中心に行政・関連団体と連携を取りながら、盲導犬使用者、ボランティア、一般市民からの苦情や相談に対応した。

管 理 部 門

1. 募金箱について

福岡県内郵便局各局の協力等により、平成 25 年 3 月末の設置先は 1,860 である。

2. 賛助会員について

会員増強に努め、前期 250 件から今期末 343 件と 93 件増加することが出来た。

3. ローコスト経営について

職員一人一人にコスト意識を徹底し、経費の削減に努めた。

4. 管理規程について

盲導犬貸与規程の一部改正を行った。

5. 国際盲導犬連盟の査察について

当協会は平成 14 年 11 月に連盟に加入しているが、平成 24 年 11 月 19 日～21 日の 3 日間、5 年ぶり 2 回目の査察が行われ、優良施設として正会員資格の更新を受けることができた。

6. 理事会・評議員会の開催状況について

- (1) 理事会を次のとおり、4 回開催した。

開催年月日	主な決議事項
平成 24 年 5 月 21 日	・平成 23 年度事業報告及び財務諸表について ・定時評議員会の開催について ・盲導犬貸与規程の改正について

平成 24 年 6 月 11 日	・代表理事及び業務執行理事の選定について
平成 24 年 12 月 19 日	・平成 25 年度採用計画について ・評議員選定委員の選任について
平成 25 年 3 月 4 日	・平成 25 年度事業計画及び収支予算について ・評議員会の開催について ・業務執行理事の選定について

(2) 評議員会を次のとおり、2回開催した。

開催年月日	主な決議事項
平成 24 年 6 月 11 日	・平成 23 年度事業報告及び財務諸表について ・理事及び監事任期満了に伴う選任について
平成 25 年 3 月 21 日	・平成 25 年度事業計画及び収支予算について

7. 職員に関する事項について

職員在籍状況

平成 25 年 3 月 31 日現在

部 署	職 種	職 員 数	パ ー ト
事 務 局	管 理 ・ 事 務	※3 名	—
総合訓練センター	管 理 ・ 事 務	1 名	1 名
	盲導犬歩行指導員	3 名	—
	訓練士・ケネルスタッフ	5 名	4 名
計		12 名 (前期比-1)	5 名 (前期比-1)

※3 名 (常勤理事 1 名を含む)

8. 施設について

(1) 施設 (総合訓練センター) の場所 ; 福岡県糸島市東 702 番地 1

(2) 敷地面積 ; 4,133.39 m²

(3) 建物

・管理棟 (主な建物)

(構造等) 鉄筋コンクリート造 3階建て 1,479.11 m²

(主な設備) 事務室、食堂、厨房、男女浴室、共同訓練生宿泊室 (7室)

多目的ホール、犬用医務室、相談室、会議室、

・犬舎棟

(構造等) 鉄筋コンクリート造 平屋建て 574.25 m²

(主な設備) 繁殖犬舎、第1犬舎、第2犬舎、犬具・フード倉庫、シャワー室

事業報告の附属明細書

特に記載すべき事項はありません。